



一般財団法人

函館国際水産・海洋都市推進機構



Newsletter 第31号 2014年7月28日

機構の活動

平成26年06月から
平成26年07月まで



食とバイオ国際交流シンポジウム2014

開催

H26.06.03



講演の様子

函館市国際水産・海洋総合研究センターにおいて、経済産業省北海道経済産業局、北海道大学大学院水産科学研究院、(公財)函館地域産業振興財団主催、当機構共催による「食とバイオ国際交流シンポジウム2014～シンガポールとの研究&ビジネス連携を本格化～」が開催されました。

道内のマリンバイオに関する産学連携の共同研究やビジネス展開、食・バイオ関連分野のシンガポールを拠点としたアジア展開を促進するため行われたもので、約200名の来場がありました。

当日は、食品科学や食品加工分野での先端研究を行っているシンガポールの研究者からの講演の他、食品の機能性や栄養分野における産学共同研究の成果や製品の展示も行われました。また、シンガポールの食品市場の動向等も発表され、「食とバイオ国際交流」の名にふさわしいシンポジウムとなりました。

JAMSTEC (独立行政法人海洋研究開発機構)

深海潜水船支援母船「よこすか」・深海巡航探査機「うらしま」一般公開 H26.06.07

函館市と当機構の主催、独立行政法人海洋研究開発機構の協力で、函館市国際水産・海洋総合研究センター前弁天岸壁にて、深海潜水船支援母船「よこすか」と、深海巡航探査機「うらしま」の一般公開を行いました。独立行政法人海洋研究開発機構(JAMSTEC)は、海洋に関する基盤的研究開発、海洋に関する学術研究に関する協力等の業務を総合的に行うことにより海洋科学技術の水準の向上を図るとともに、学術研究の発展に資することを目的として活動している法人です。

当日は、船内の一般公開のほか、研究センターエントランスホール内で、JAMSTEC紹介のパネル展示やグッズ販売、がごめ飯の販売等もあり、小雨まじりの悪天候下にもかかわらず、約700名の市民が来場し賑わいました。



パネル展示、売店の様子



支援母船よこすかとUW旗



公開セッションの様子

長野県の下諏訪総合文化センターにて、特定非営利活動法人産学連携学会主催の産学連携学会第12回大会のポスターセッションに参加しました。

産学連携学会は、産学連携に従事する人、産学連携を必要とする人、産学連携を支える人、産学連携に関心のある人すべてを対象とし、産学連携学の確立及び産学連携の発展を通して、学術や技術の促進と豊かで個性と活性に富んだ社会構築に寄与することを目的として活動しています。

今大会は、諏訪という全国でも有数の産業集積地で開催されました。産学連携に関する諸課題についての各種セッションや対話集会、オープンセミナー、ポスター展示等が行われ、産学官の学識経験者や実務者が広く交流し、学会員はもとより産学連携に関心のある多くの人々が、相互に啓発しあう場となりました。

地域の活動

平成26年06月から
平成26年07月まで



観光資源としての「海藻」の活用促進に向けたフォーラム

後援

H26.07.02

公益財団法人函館地域産業振興財団、日本政策金融公庫函館支店、北洋銀行函館中央支店、道南食と観光クラスター型6次産業化推進協議会の共催で、観光資源としての「海藻」の活用促進に向けたフォーラムが、当センターで開催されました。

当日は、「観光資源としての海藻活用について」、「海藻の機能性について」、「海藻製品の活用状況について」の講演の後、函館食品衛生協会 指導員 秋保栄 氏と10名の料理人による海藻料理プレゼンテーションと試食会が行われ、大勢の来場者は海藻料理の美味しさを堪能、海藻の観光資源としての可能性を感じるフォーラムとなりました。



講演の様子

平成26年度(第28回)北海道大学水産学部公開講座 「最近の海的环境変化と水産資源」 後援

H26.07.05-09.06

7月5日(土)より6回シリーズで、第28回北海道大学水産学部公開講座「最近の海的环境変化と水産資源」が開講しました。第1回は、北海道大学水産学部大講義室において、「地球温暖化と水産資源 ～本当に温暖化に向かっている?」と題して、北大大学院水産科学研究所 特任教授 桜井泰憲 氏が講演をおこないました。



安井研究院長のあいさつ

日本周辺の気候の変化と温暖化が水産資源に与える影響や、自然環境だけではなく人的な影響なども含め大変興味のある講演であり、質疑応答も活発に行われました。今後は、「気候変動とサケ」「最近のサケの資源変動と資源づくり」「漁業と漁村に吹く新風～資源・流通・暮らしの変化～」「「そこうお」の資源量変動」「道南における近年の海洋環境の変化」の講座が実施されます。

キャンパスコンソーシアム函館合同公開講座 函館学2014
第3回「美しい大沼アオコから守る」

開催

H26.07.12

キャンパス・コンソーシアム函館合同公開講座 函館学2014 第3回「美しい大沼アオコから守る」が、函館市国際水産・海洋総合研究センターにおいて開講され、北海道大学大学院水産科学研究院教授 今井一郎氏がヨシ由来の細菌の活用によるアオコの発生制御などについて講義を行いました。当日は100名を超える受講者があり、自然環境についての関心の高さがうかがえました。講義終了後は当機構職員による研究センター見学会を実施し、こちらも多くの方が参加されました。



講座の様子

「函館産業・技術融合推進事業」交流会 開催

H26.07.18

函館国際ホテルにおいて、函館市主催による「函館産業・技術融合推進事業」交流会が開催されました。全国の先端技術研究開発企業の新技术や取組みを紹介し、函館に集積する機械金属、造船、電子部品、食品バイオ等の「ものづくり技術」との融合・交流を図ることで、新たなビジネスネットワークの構築を推進する目的で行われ、当日は、第1部の特別講演(1)として、



講演の様子

株式会社サキコーポレーション 代表取締役社長 秋山咲恵氏より「新しい価値の創造への挑戦～日本再興へのチャレンジ～」と題し、自身が経験した困難をどのようにして乗り越えてきたか講演し、続いて特別講演(2)として、三菱電機(株)生産システム本部 生産技術センター長 大西寛氏より「三菱電機の成長を支えるものづくり」と題し、講演が行われました。

講演後に開催された第2部の名刺交換・交流会では、講師と地元民間企業や研究機関など様々な方が名刺交換を行い、懇親を深める機会となりました。

函館マリンフェスティバル2014
函館みなとパネル展&みなと見学会 開催

H26.07.20-21

「函館マリンフェスティバル2014」のイベントの一つとして、北海道開発局函館開発建設部函館港湾事務所による「函館みなとパネル展&みなと見学会」が開催されました。

パネル展では、函館港の役割と機能、そして、みなとまち函館の開港から現在までの歴史や函館港幹線臨港道路（ともえ大橋）の建設記録や現在進められている臨港道路の概要についての紹介、その他に岸壁等の模型や潜水具の展示及び潜水マスクの試着体験などもあり、見学者は興味深く見入っていました。

また、港湾業務艇「みずなぎ」に乗船し、函館港を1周して、港の役割を学んだり、ベイエリアの景観、海から見た函館港を楽しむ体験会もありました。当日は130名の参加があり、盛況に終わりました。



パネル展示の様子

大型実験水槽

研究センター供用開始から、早いもので2ヶ月ほどが経過し、会議室等の利用、イベントや視察・見学者などで、6月だけで約3,000名もの方にご利用いただくことができました。見学に来られた方の中で一番人気なのは、やはりエントランスホールに設置されている大型実験水槽です。



大型実験水槽

オープン当初より、松前・札前漁港の網いけすで畜養されたホッケを50匹ほど飼育していましたが、7月26日(土)(予定)よりイカに入れ替え、北海道大学大学院水産科学研究院特任教授 桜井泰憲氏指導のもと、スルメイカの飼育実験が始まります。餌は、生きた鰯を投入する予定。イカが餌を食べる姿を見るチャンス!! 9月頃には成熟したメスだけにして、産卵させる予定もあります。



水難事故救助訓練の様子

また、現状ホッケが泳ぐなか、函館市消防本部の方々水難事故の救助訓練をされました。予想外の使用方法ですが、なかなかの迫力。市民の安全を守る仕事の大変さを目の当たりにしました。

タッチプール

研究センター正面玄関の外には海水を利用したタッチプールがあります。(株)鉄山協和組のご協力をいただき、玉砂利や岩を敷き、岩に根付いた昆布などの海藻も投入。磯の雰囲気を作り上げました。



タッチプール

浅い部分では子供が入って水遊びできます。7月20日(日)から8月24日(日)までの毎日、ヤドカリやヒトデ、小魚などが日替わりで投入される予定です。

開館時間中は自由に利用できますので、お気軽にお立ち寄りください。



タッチプール

<開館時間>

平日月曜～金曜 9:00～17:00

函館市国際水産・海洋総合研究センター 日曜日

10:00～16:00(8月末まで)

参加無料

～マリンフェスタ2014～

雨天決行

■開催日時：平成26年8月24日(日) 10:00～16:00

■開催場所：函館市国際水産・海洋総合研究センター（函館市弁天町20番5号）

◎会場へのアクセスは、函館どつく前バス停（市電函館どつく前電停の先100m）より、9:00～16:00の間15分毎に無料シャトルバスを運行しておりますのでご利用ください。

予約不要

★MAREとヨット試乗体験のみ要予約★

予定イベント

🌸 **サメのおはなし** 13:30～15:00

講 師：北海道大学名誉教授・日本板鯧類（サメ・エイ類）研究会会長 仲谷 一宏 氏

ゲスト：タレント（長崎県出身）林 さやか 氏

世界のサメ博士 北海道大学名誉教授 仲谷一宏氏の講演と、サメ研究が趣味のタレント林さやか氏の対談。当日はサメの歯などの標本も展示予定です。知っているようで知らないサメの世界を覗いてみませんか？

🌸 **MARE(マーレ) 海を学ぶ体験型教育プログラム** 参加対象：小学3年～6年生

米国カリフォルニア大学バークレー校の研究機関において、1991年から開発・運営されている小学生を対象としたプログラム。NPO法人海の自然史研究所をアドバイザーに、函館のMAREリーダーが実施します。

①「魚！サカナ！さかな！」 10:30～12:00

講 師：水産・海洋コーディネーター 塩見 浩二 氏

②「赤い魚を探せ！」 14:00～15:30

講 師：水産・海洋コーディネーター 工藤 世一 氏

※各プログラム定員30名となります。

※参加お申込はイベントチラシ裏面の申込用紙にご記入の上FAXかメールにてお申し込みください。（申込用紙に希望の時間を必ずご記入ください。）



試乗体験ヨットにのろう！



青い空、まぶしい太陽。風にふかれながら、雄大な海の強さと優しさを肌で感じてみませんか？一度乗ればあなたも海の子！ぜひ体験してください！

■開催時間■

①10:30～11:30（定員30名）

②13:00～14:00（定員30名）

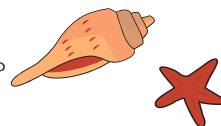
③14:30～15:30（定員30名）

※参加お申込はイベントチラシ裏面の申込用紙にご記入の上FAXかメールにてお申し込みください。

※上記、開催時間を確認の上、申込用紙に希望の時間を必ずご記入ください。

タッチプール海の生き物に触れよう！

タッチプールとは、海の生き物に直接触れることができる浅いプール。普段は触れる機会のない海の生き物たちに触れて、海を身近に感じてみませんか？



■開催時間■ 10:00～16:00

表千家流学校茶道会



表千家同門会函館支部による茶会です。海を眺めながら、ゆったりと一杯のお茶をお楽しみください。

■開催時間■ 10:00～15:00

フィッシャーマンズワーフ hakodate

道南の海産物と加工品の見本市及び販売。見て、食べて、買って、道南の海の豊かさをお楽しみください。

△**？！？やきそば、ねばねば本舗、(旬)たかせ(海産物)、**
福田海産物(海産物)、函館北栄物産(海産物・朝市関連)、
栄屋(朝市関連)、(旬)石川青果(野菜)、Jonnyの手羽先、
▽その他ポップコーン、たこ焼きもあり！！

■開催時間■ 10:00～16:00

パネル展示



センター入居機関の紹介と研究成果、今や日本全国にも知られるガゴメ昆布のブランド化推進の取組みと、ダルス他未利用海藻の学術的特異性とブランド化への展望など。

■開催時間■ 10:00～16:00

■主催：函館市、一般財団法人函館国際水産・海洋都市推進機構

◎ 水産・海洋研究に関する一般講演会「ダイオウイカ、奇跡の遭遇」

日 時：平成26年8月2日（土）14：00～15：30（受付：13：30～）
 場 所：函館市国際水産・海洋総合研究センター・大会議室（函館市弁天町20番5号）
 講 師：窪寺 恒己 氏
 （国立科学博物館 標本資料センター コレクションディレクター）
 参加費：無料 定 員：先着100名（定員になり次第、申込み締切）
 申 込：7月10日より受付開始
 下記連絡先へ電話またはE-mailにて参加者氏名をお知らせください。



お申込み
お問合せ

北水同窓会事務局
 TEL：0138-42-3681（10：00～16：00）
 E-mail:hokusui@hotmail.com（臨時）

◎ 開港155周年記念函館港まつり協賛 東北支援ペリー来航160周年記念
函館ペリーボート競漕

日 時：平成26年8月3日（日）9：30～（競技開始）
 場 所：函館港 若松南ふ頭前面海上及び荷捌場（旧シーポートプラザ前）
 ※駐車場はございませんので公共交通機関をご利用願います。

<お問い合わせ>

(株)富士サルページ内、函館ペリーボート競漕担当
 TEL：0138-26-6110 FAX：0138-27-2870
 E-mail:info@hakodate-perry-boatrace.com



◎ 函館どつく 第864番船 進水式のご案内

日 時：8月6日（水）10：30～（予定）

函館造船所第1号船台においてHIGH BULK 34E（載貨重量34,000トンばら積み貨物船）第864番船の命名式および進水式を行います。本船は、株式会社名村造船所と共同開発した3万4千トン型ハンディサイズバルクキャリアシリーズの記念すべき第1船目となります。

函館どつくの進水は滑走（ポール）式進水方式を採用しており、間近で見学することが可能です。とても大きな船が目の前をゴウ音とともに滑り降りる様子は非常に感動的です。東京以北では最大規模のイベントです。進水式は一般の方々に公開しておりますので、ぜひ一度ご覧ください。

※詳しくは、函館どつくHPをご覧ください。 <http://www.hakodate-dock.co.jp>



◎ 函館オーシャンナイト「噴火湾 寒流と暖流が会う豊穡の海」

日 時：平成26年8月27日（水）18：30～20：00（開場18：00）
 場 所：函館市国際水産・海洋総合研究センター
 （函館市弁天町20番5号）

参加費：無料

ゲスト：函館水産試験場 調査研究部 管理増殖グループ 研究職員 佐藤 政俊氏

主 催：一般財団法人函館国際水産・海洋都市推進機構

協 力：地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 水産研究本部 函館水産試験場

事前予約不要

無料駐車場あり

発行：一般財団法人 函館国際水産・海洋都市推進機構

〒040-0051 北海道函館市弁天町20番5号

函館市国際水産・海洋総合研究センター内

TEL：0138-21-4700 FAX：0138-21-4601

URL：<http://www.marine-hakodate.jp/> E-mail：office@marine-hakodate.jp

